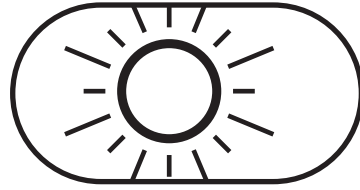


需要堅調で今後も期待大

チ ー ズ



は れ

家庭用チーズは、家飲みや内食志向を背景とする底堅い需要に支えられ、引き続き好調。今期は大手3社が実施した値上げの影響が注目されたが、結果的に影響はほとんどなかったようだ。牽引役のナチュラルチーズは、健康機能が広く注目されたことなどもあり間口がさらに拡大。特に認知症の予防効果が注目されたカマンベールは、一過性のブームに陥ることなくエントリーユーザーが定着。間口と

奥行きの両面が拡大している。プロセスチーズもベビー、6Pといった値頃感のあるおつまみ系商品が引き続き好調に推移している。

国内チーズ消費量推移

